

令和6年度

学校基本調査報告書

令和7年2月

福 井 県

## 目 次

### 調査の概要

I	学校調査	1
1	小学校	1
2	中学校	4
3	義務教育学校	7
4	高等学校	8
5	特別支援学校	11
6	幼稚園	12
7	幼保連携型認定こども園	14
8	専修学校	15
9	各種学校	16
II	卒業後の状況調査	17
1	中学校および義務教育学校卒業生	17
2	高等学校卒業生	19
III	調査の概要	23

### 統計表

#### (1) 学校調査

##### 第1表 総括表

##### (小学校)

第2表	小学校総括表	
第3表	学級数別学校数	
第4表	類型別学校数	
第5表	市町別・児童数別学校数	
第6表	編制方式別学級数	
第7表	収容人員別学級数	
第8表	学級編制方式別児童数	
第9表	学年別児童数	
第10表	職名別教員数	
第11表	職員数（本務者）	
第12表	帰国児童数	
第13表	外国人児童数	
第14表	へき地等指定学校（公立）	
第15表	本務教員のうち理由別休職等教員数	
第16表	本務教員のうち指導主事等の数（公立）	
第17表	本務教員のうち教務主任等の数	
第18表	本務教職員のうち産休代替等教職員数	
第19表	私費負担の職員数（公立）	
第20表	学校医等の数	

##### (中学校)

第21表	中学校総括表	
第22表	学級数別学校数	

第23表	類型別学校数	
第24表	市町別・生徒数別学校数	
第25表	編制方式別学級数	
第26表	収容人員別学級数	
第27表	学年別生徒数	
第28表	学級編制方式別生徒数	
第29表	職名別教員数	
第30表	職員数（本務者）	
第31表	帰国生徒数	
第32表	外国人生徒数	
第33表	へき地等指定学校（公立）	
第34表	本務教員のうち理由別休職等教員数	
第35表	本務教員のうち指導主事等の数（公立）	
第36表	本務教員のうち教務主任等の数	
第37表	本務教職員のうち産休代替等教職員数	
第38表	私費負担の職員数（公立）	
第39表	学校医等の数	

##### (義務教育学校)

第40表	学校数および学級数	
第41表	学年別児童生徒数	
第42表	教員数	
第43表	職員数（本務者）	

##### (高等学校)

全日制・定時制		
第44表	高等学校総括表	
第45表	設置者別学校数・入学定員（本科）	
第46表	単独・総合別学校数	
第47表	昼夜別学校数（定時制）	
第48表	男女別学校数	
第49表	学科数（本科）	
第50表	小学科数（本科）	
第51表	学年別生徒数	
第52表	小学科別生徒数（本科）	
第53表	小学科別入学状況（本科）	
第54表	学科別・学年別生徒数（本科）	
第55表	職名別教員数	
第56表	職員数（本務者）	
第57表	本務教員のうち理由別休職等教員数	
第58表	本務教員のうち教務主任等の数	
第59表	本務教職員のうち産休代替教職員等	
第60表	本務教職員のうち育児休業代替教職員等	
第61表	定時制課程を兼任している教員数	
第62表	本務教員のうち指導主事等の数（公立）	
第63表	外国人生徒数	



## II. 卒業後の状況調査

(中学校)

- 第142表 進路別卒業生数
- 第143表 高等学校等への進学者数
- 第144表 専修学校等への入学者数
- 第145表 産業別就職者数

(義務教育学校)

- 第146表 進路別卒業生数
- 第147表 高等学校等への進学者数

(高等学校)

全日制・定時制

- 第148表 学科別進路別卒業生数
- 第149表 学科別大学・短期大学等への進学者数
- 第150表 学科別専修学校（一般課程）等入学者数
- 第151表 職業別就職者数
- 第152表 職業別・学科別就職者数
- 第153表 産業別就職者数
- 第154表 産業別・学科別就職者数
- 第155表 就職先別県外就職者数
- 第156表 産業別県内県外就職者数

通信制

- 第157表 学科別進路別卒業生数
- 第158表 学科別大学・短期大学等への進学者数
- 第159表 学科別職業別就職者数
- 第160表 産業別就職者数

(特別支援学校)

中学部

- 第161表 進路別卒業生数
- 第162表 高等学校等への進学者数

高等部

- 第163表 進路別卒業生数
- 第164表 大学・短期大学等への進学者数
- 第165表 職業別就職者数
- 第166表 産業別就職者数

## III. 不就学学齢児童・生徒調査

- 第167表 不就学学齢児童・生徒数

## IV. 学校施設調査

- 第168表 用途別・構造別学校建物面積（高等学校等）
- 第169表 用途別学校土地面積（高等学校等）
- 第170表 用途別・構造別学校建物面積・学校土地面積（各種学校）

## 付表

- 付一1 都道府県別進学率、就職率
- 付一2 大学・短期大学の入学状況（高等教育機関）

# 調査結果の概要

# I 学校調査

## 1 小学校

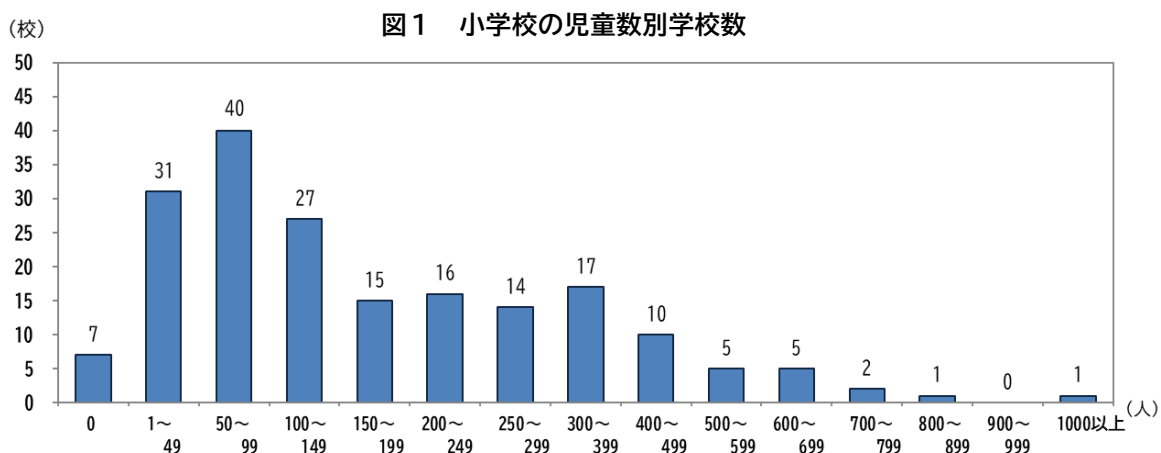
### (1) 学校数 (表1, 図1)

学校数は191校(本校190校、分校1校)となり、前年度と同数となっている。公立190校、私立1校である。

規模別にみると、児童数「50～99人」の学校が40校(構成比20.9%)と最も多く、次いで「1～49人」が31校(構成比16.2%)、「100～149人」の学校が27校(構成比14.1%)となっている。

表1 小学校の学校数および学級数

区分	学校数			学級数				特別支援学級の占める割合 %
	本校	分校	学級	単式学級	複式学級	特別支援学級		
令和2年度	196	195	1	1,981	1,620	63	298	15.0
令和3年度	194	193	1	1,962	1,601	62	299	15.2
令和4年度	193	192	1	1,949	1,570	65	314	16.1
令和5年度	191	190	1	1,923	1,528	72	323	16.8
<b>令和6年度</b>	<b>191</b>	<b>190</b>	<b>1</b>	<b>1,891</b>	<b>1,489</b>	<b>74</b>	<b>328</b>	<b>17.3</b>

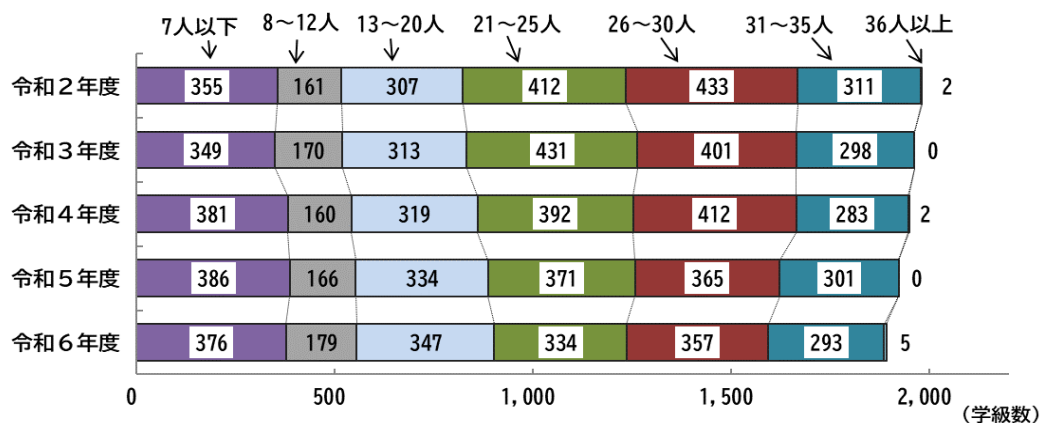


### (2) 学級数 (表1, 図2)

学級数は1,891学級であり、前年度より32学級減少している。

収容人員別にみると、「7人以下学級」が376学級で最も多く、次いで「26～30人学級」が357学級、「13～20人学級」が347学級となっている。

図2 小学校の収容人員別学級数の推移



(3) 児童数 (表2, 図3~5)

児童数は36,755人(男18,874人、女17,881人)であり、前年度より842人減少している。昭和58年度以降連続して減少しており、過去最少である。

1学級当たりの児童数は19.4人であり、全国の21.7人を下回っている。

本務教員1人当たりの児童数は11.8人であり、全国の14.0人を下回っている。

表2 小学校の児童数

区分	児童数		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	1学級当たりの児童数	本務教員1人当たりの児童数
	男	女								
令和2年度	40,177	19,534	6,318	6,450	6,648	6,758	6,914	7,089	20.3	13.0
令和3年度	39,236	19,067	6,134	6,303	6,456	6,651	6,769	6,923	20.1	12.8
令和4年度	38,444	18,675	6,165	6,121	6,284	6,455	6,642	6,777	19.7	12.3
令和5年度	37,597	18,233	5,951	6,164	6,123	6,270	6,454	6,635	19.9	12.1
令和6年度	36,755	17,881	5,803	5,955	6,160	6,109	6,265	6,463	19.4	11.8

図3 小学校の学校数および児童数の推移

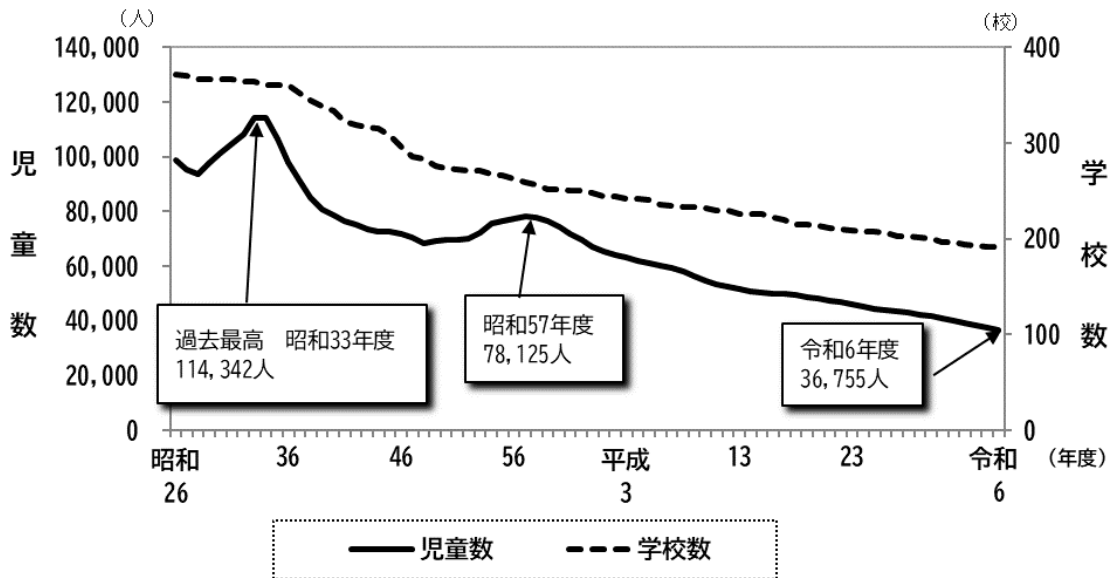
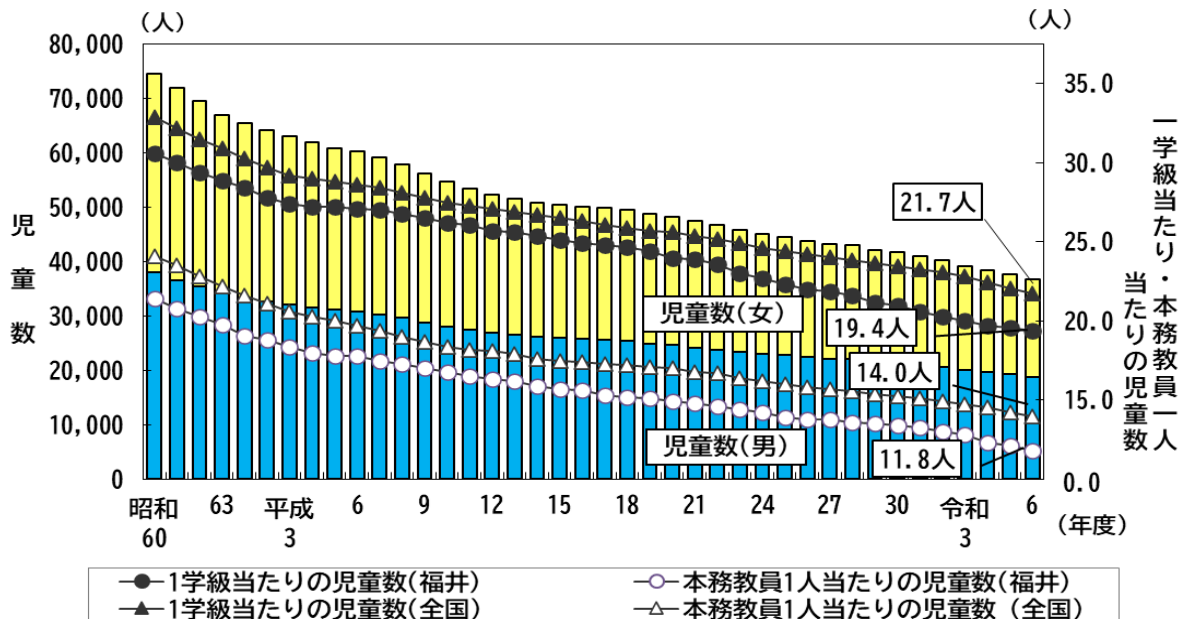
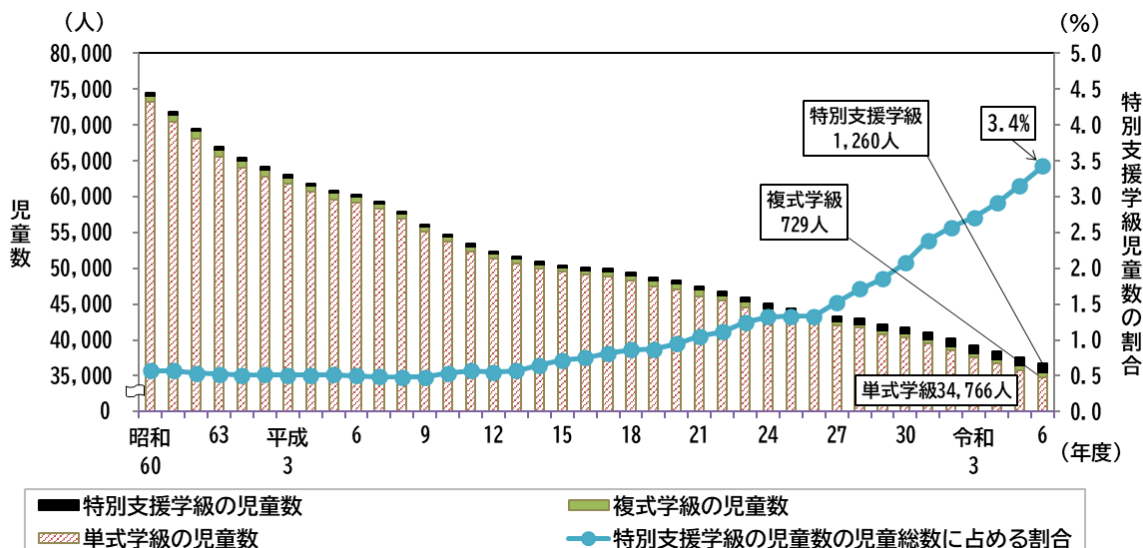


図4 小学校の児童数および1学級当たり・本務教員1人当たりの児童数の推移



学級編制方式別にみると、単式学級の児童数は34,766人であり前年度より967人減少、複式学級の児童数は729人であり51人増加、特別支援学級の児童は1,260人であり74人増加している。特別支援学級の児童数の児童総数に占める割合は3.4%となっており、児童数が逡減している中、昭和60年以降、年々上昇傾向にある。

図5 小学校の学級編制方式別児童数および特別支援学級児童数の割合の推移



(4) 教員数 (表3, 図6)

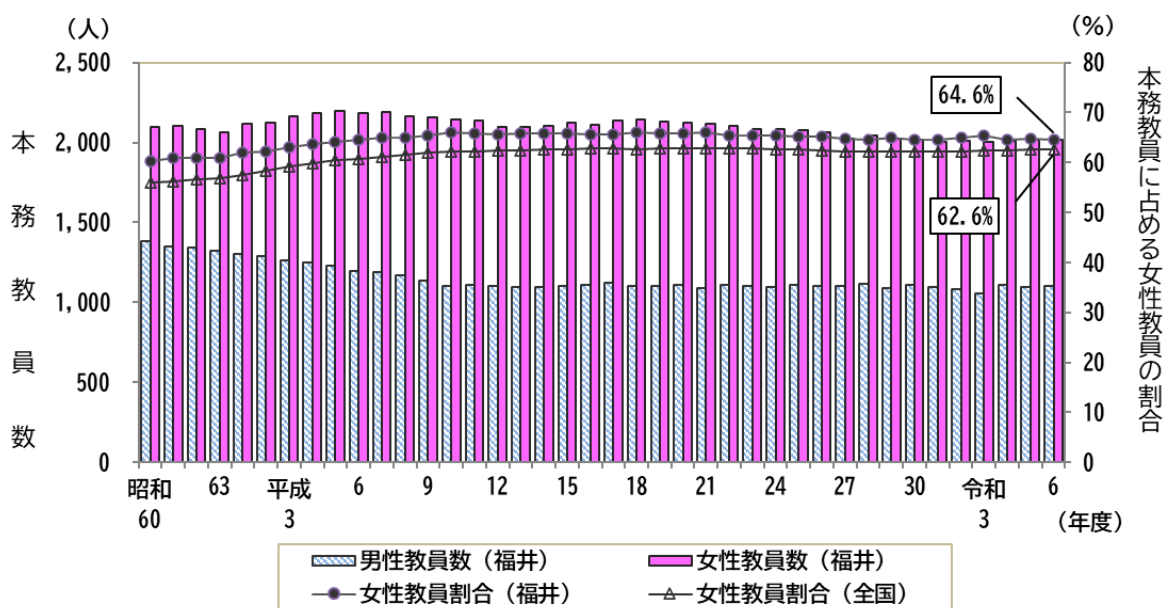
教員数(本務者)は3,122人(男1,105人、女2,017人)であり、前年度から5人増加となっている。

教員数(本務者)のうち、女性教員の占める割合は64.6%であり、前年度より0.1ポイント減少しており、全国と比べて2.0ポイント高い。

表3 小学校の教員数(本務者)

区分	教員数 (本務者) 人	性別		本務教員に占める女性教員の割合 %
		男 人	女 人	
令和2年度	3,095	1,084	2,011	65.0
令和3年度	3,060	1,058	2,002	65.4
令和4年度	3,116	1,107	2,009	64.5
令和5年度	3,117	1,099	2,018	64.7
<b>令和6年度</b>	<b>3,122</b>	<b>1,105</b>	<b>2,017</b>	<b>64.6</b>

図6 小学校の男女別本務教員数および本務教員に占める女性教員の割合の推移





## 2 中学校

### (1) 学校数 (表4, 図7)

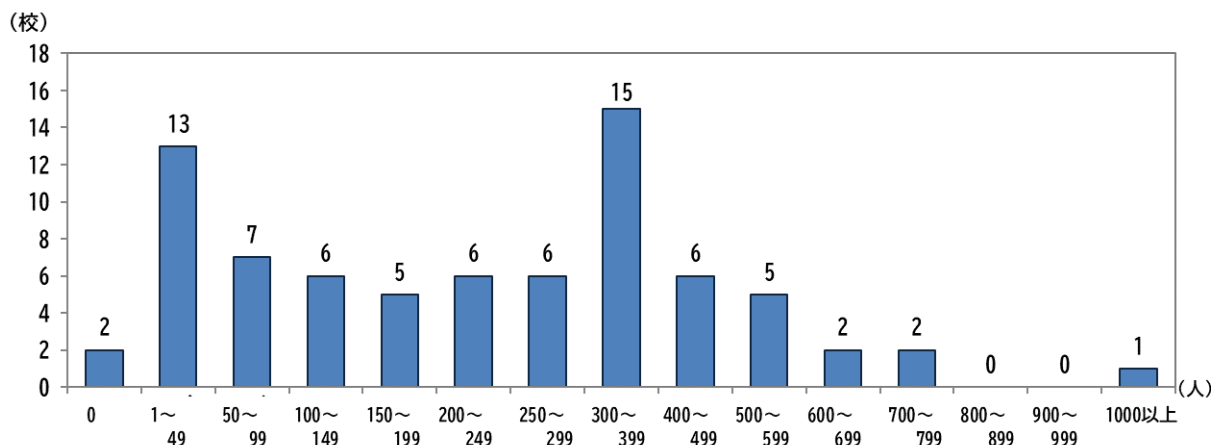
学校数は76校(本校74校、分校2校)となり、前年度より4校減少した。公立72校、私立4校である。

規模別にみると、生徒数「300～399人」の学校が15校(構成比19.7%)と最も多く、次いで「1～49人」の学校が13校(構成比17.1%)、「50～99人」の学校が7校(構成比9.2%)となっている。

表4 中学校の学校数および学級数

区 分	学校数			学級数			特別支援学級の 占める割合 %
	校	本校	分校	学級	単式学級	特別支援学級	
令和2年度	82	80	2	898	761	137	15.3
令和3年度	83	81	2	908	767	141	15.5
令和4年度	81	79	2	901	754	147	16.3
令和5年度	80	78	2	885	741	144	16.3
令和6年度	76	74	2	864	719	145	16.8

図7 中学校の生徒数別学校数

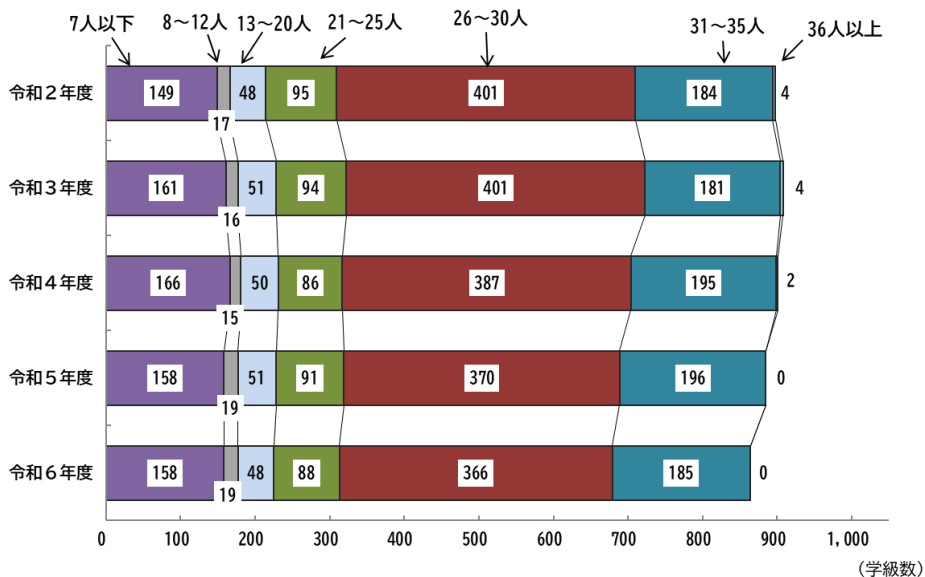


### (2) 学級数 (表4, 図8)

学級数は864学級であり、前年度より21学級減少している。

収容人員別にみると、「26～30人学級」が366学級で最も多く、次いで「31～35人学級」が185学級、「7人以下学級」が158学級となっている。

図8 中学校の収容人員別学級数の推移



(3) 生徒数（表5, 図9～11）

生徒数は20,102人（男10,320人、女9,782人）であり、前年度より447人減少している。  
 1学級当たりの生徒数は23.3人であり、全国の26.3人を下回っている。  
 本務教員1人当たりの生徒数は11.2人であり、全国の12.7人を下回っている。

表5 中学校の学年別生徒数

区分	生徒数 人	性別		1学年 人	2学年 人	3学年 人	1学級 当たりの 生徒数 人	本務教員 1人当たりの 生徒数 人
		男 人	女 人					
令和2年度	21,170	10,848	10,322	7,062	7,088	7,020	23.6	11.6
令和3年度	21,196	10,846	10,350	7,023	7,074	7,099	23.3	11.5
令和4年度	20,942	10,726	10,216	6,843	7,019	7,080	23.2	11.3
令和5年度	20,549	10,524	10,025	6,701	6,830	7,018	23.2	11.2
令和6年度	20,102	10,320	9,782	6,558	6,702	6,842	23.3	11.2

図9 中学校の学校数および生徒数の推移

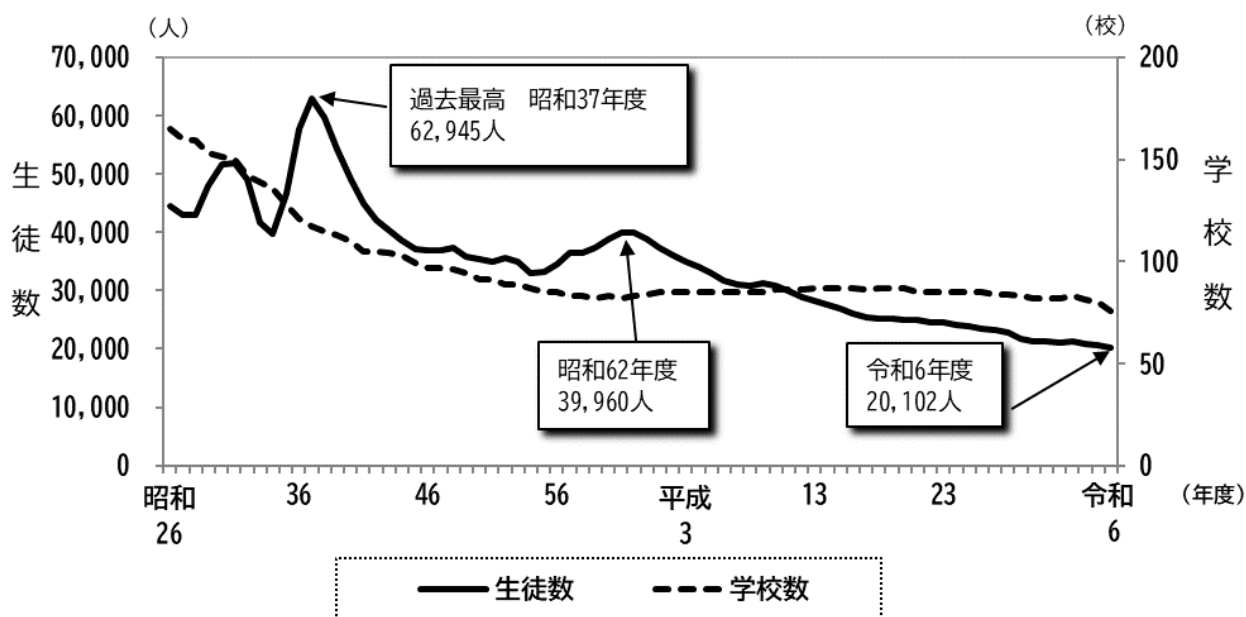
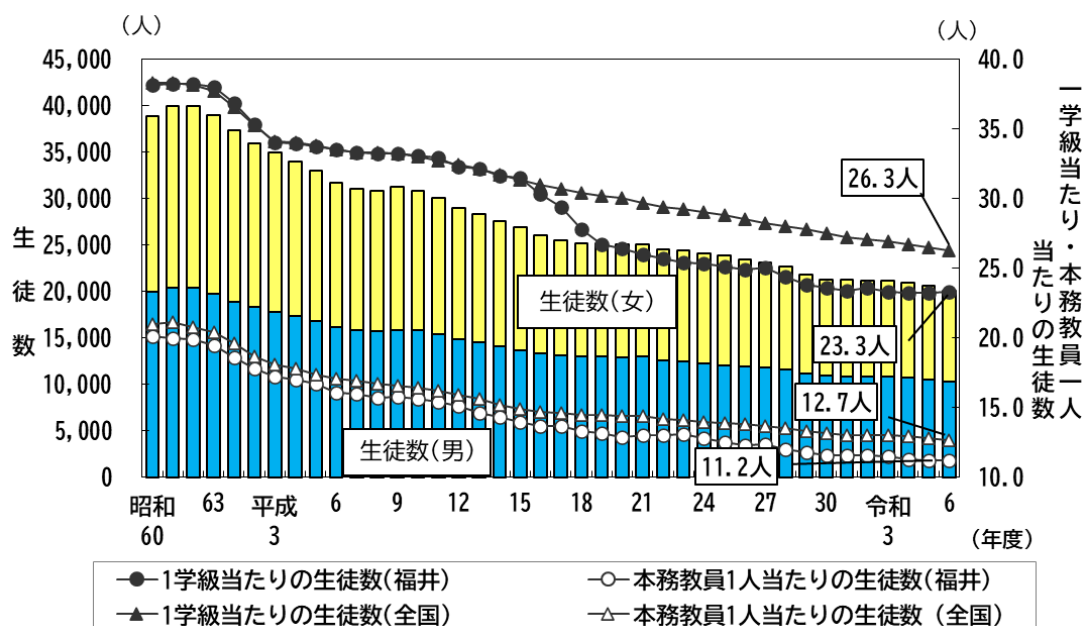
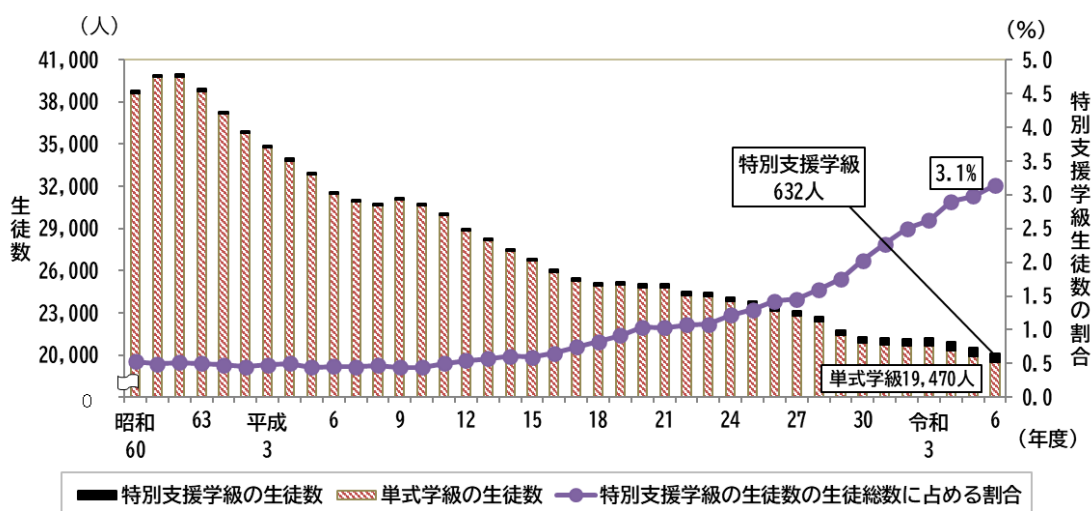


図10 中学校の生徒数および1学級当たり・本務教員1人当たりの生徒数の推移



学級編制方式別にみると、単式学級の生徒数は19,470人であり前年度より467人減少した一方、特別支援学級の生徒は632人であり前年度より20人増加している。特別支援学級の生徒数の生徒総数に占める割合は3.1%であり、昭和60年以降からの推移をみると、生徒数が逡減している中、年々上昇傾向にある。

図11 中学校の学級編制方式別生徒数および特別支援学級生徒数の割合の推移



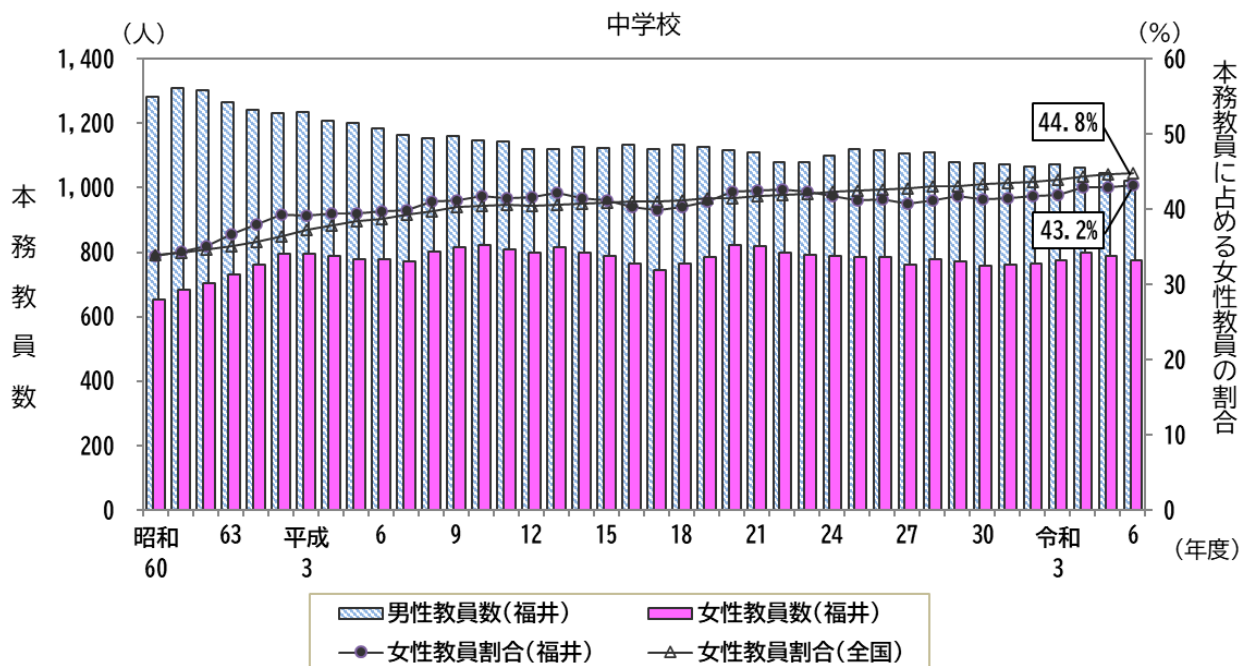
(4) 教員数 (表6, 図12)

教員数(本務者)は1,797人(男1,021人、女776人)であり、前年度より38人減少している。教員数(本務者)のうち、女性教員の占める割合は43.2%であり、前年度から0.3ポイント増加している。全国と比べると1.6ポイント低い。

表6 中学校の教員数(本務者)

区分	教員数(本務者)			本務教員に占める女性教員の割合
	人	男	女	
令和2年度	1,832	1,066	766	41.8
令和3年度	1,848	1,074	774	41.9
令和4年度	1,860	1,062	798	42.9
令和5年度	1,835	1,047	788	42.9
令和6年度	1,797	1,021	776	43.2

図12 中学校の男女別本務教員数および本務教員に占める女性教員の割合の推移



### 3 義務教育学校

(1) 学校数 (表 7)

学校数は平成 29 年度に設置された国立 1 校のみである。

(2) 学級数 (表 7)

学級数は 21 学級となり、前年度と変わらない。

(3) 児童生徒数 (表 7)

児童生徒数は 716 人 (男 358 人、女 358 人) であり、前年度より 8 人増加している。  
1 学級当たりの児童生徒数は 34.1 人であり、前年度より 0.4 人増加している。  
本務教員 1 人当たりの児童生徒数は 18.8 人であり、前年度より 0.6 人増加している。

(4) 教員数 (表 7)

教員数は 38 人であり、前年度より 1 人減少している。

表 7 義務教育学校の主要指標

区 分	学校数	学級数	児 童 生 徒 数			1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
			計	男	女						
令和 2 年度	1	21	713	346	367	67	70	64	65	65	66
令和 3 年度	1	21	716	349	367	70	67	70	61	65	64
令和 4 年度	1	21	719	357	362	68	69	67	69	60	67
令和 5 年度	1	21	708	357	351	62	68	67	67	68	59
<b>令和 6 年度</b>	<b>1</b>	<b>21</b>	<b>716</b>	<b>358</b>	<b>358</b>	<b>69</b>	<b>61</b>	<b>67</b>	<b>67</b>	<b>64</b>	<b>68</b>

つづき

区 分	7 学年	8 学年	9 学年	1 学級 当たりの 児童生徒数	本務教員 1 人 当たりの 児童生徒数	教員数 (本務者)
令和 2 年度	108	106	102	34.0	18.8	38
令和 3 年度	105	108	106	34.1	18.4	39
令和 4 年度	107	104	108	34.2	18.9	38
令和 5 年度	106	107	104	33.7	18.2	39
<b>令和 6 年度</b>	<b>108</b>	<b>106</b>	<b>106</b>	<b>34.1</b>	<b>18.8</b>	<b>38</b>

## 4 高等学校

### [1] 全日制・定時制課程

#### (1) 学校数 (表 8, 図 13)

学校数は 32 校 (本校 32 校、分校 0 校) となり、前年度と変わらない。公立 25 校、私立 7 校である。課程別でみると、全日制課程のみが 24 校、定時制課程のみが 2 校、併置校 (全日制・定時制の両課程を置く学校) が 6 校である。

学科別でみると、単独校 17 校 (普通科 10 校、農業科 1 校、工業科 2 校、商業科 1 校、その他 (専門) 2 校、総合学科 1 校) であり、総合校 15 校 (普通科と職業科 1 学科が 8 校、普通科と職業科 2 学科以上が 3 校、職業科のみ 2 学科以上が 4 校) である。(統計表第 46 表を参照)

#### (2) 生徒数 (表 8, 表 9, 図 13~15)

生徒数は 20,181 人 (男 10,201 人、女 9,980 人) であり、前年度より 169 人減少している。

1 校当たりの生徒数は 630.7 人であり、全国の 608.9 人を上回っている。

本務教員 1 人当たりの生徒数は 12.3 人であり、全国の 13.0 人を下回っている。

表 8 高等学校の学校数および生徒数

区分	学校数	生徒数								1校当たりの生徒数	本務教員1人当たりの生徒数
		計	男女		本科				専攻科		
			男	女	1学年	2学年	3学年	4学年			
令和2年度	35	21,221	10,760	10,461	7,025	6,929	7,121	76	70	606.3	12.8
令和3年度	35	20,701	10,437	10,264	6,909	6,863	6,812	46	71	591.5	12.7
令和4年度	32	20,535	10,403	10,132	6,934	6,718	6,729	77	77	641.7	12.5
令和5年度	32	20,350	10,301	10,049	6,889	6,738	6,602	54	67	635.9	12.4
<b>令和6年度</b>	<b>32</b>	<b>20,181</b>	<b>10,201</b>	<b>9,980</b>	<b>6,801</b>	<b>6,713</b>	<b>6,554</b>	<b>53</b>	<b>60</b>	<b>630.7</b>	<b>12.3</b>
(参考) 全国	4,774	2,906,921	1,481,911	1,425,010	985,031	963,703	940,677	8,946	8,421	608.9	13.0

図 13 高等学校の学校数および生徒数の推移

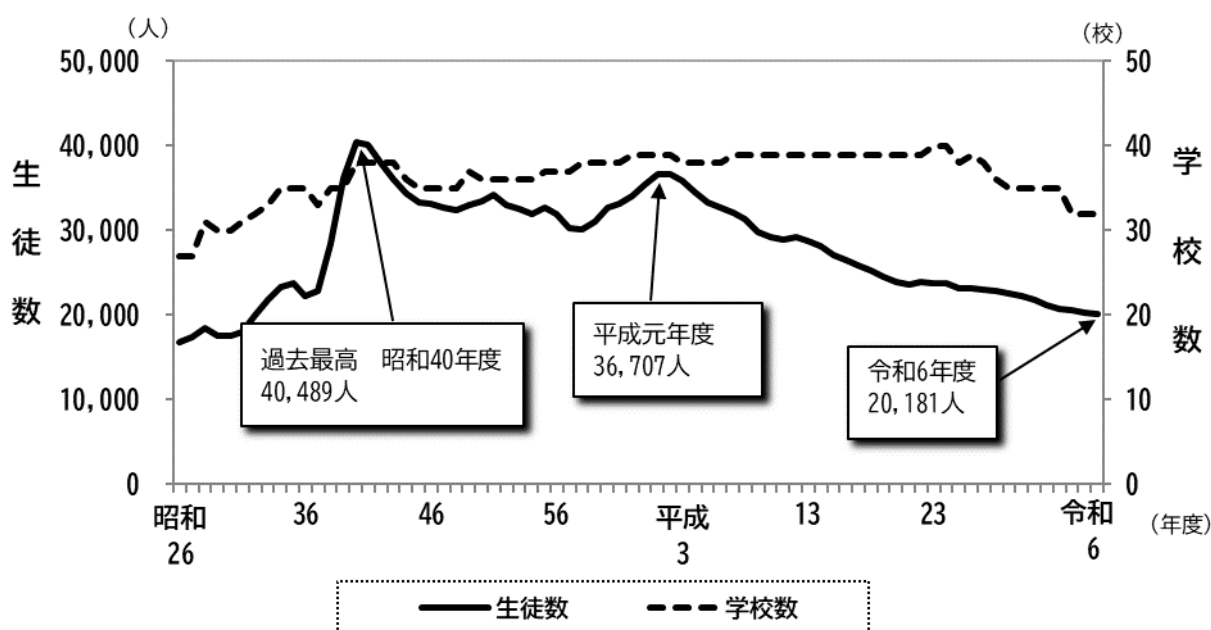


図 14 高等学校の生徒数および本務教員1人当たりの生徒数の推移

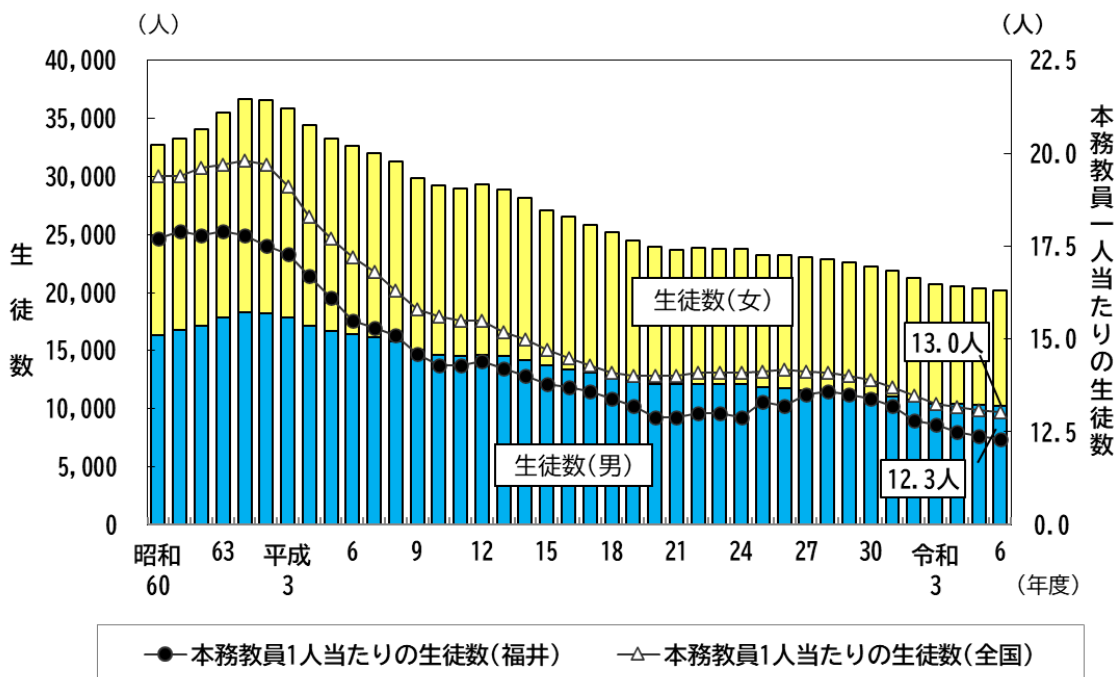
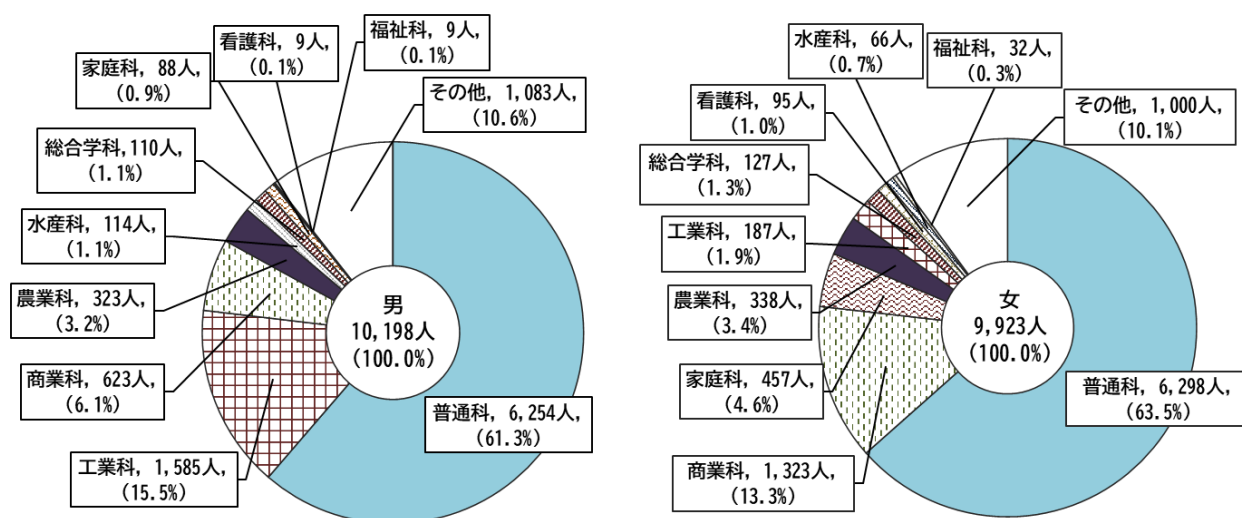


表9 高等学校の学科別生徒数

区分	計	本 科										専攻科
		普通科	農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	看護科	福祉科	その他	総合学科	
令和2年度	21,221	14,482	689	1,802	2,108	176	535	118	60	703	478	70
令和3年度	20,701	14,088	698	1,782	2,041	180	528	114	49	794	356	71
令和4年度	20,535	13,542	699	1,982	1,800	184	521	123	38	1,332	237	77
令和5年度	20,350	12,927	714	1,835	1,977	180	534	117	41	1,716	242	67
<b>令和6年度</b>	<b>20,181</b>	<b>12,552</b>	<b>661</b>	<b>1,772</b>	<b>1,946</b>	<b>180</b>	<b>545</b>	<b>104</b>	<b>41</b>	<b>2,083</b>	<b>237</b>	<b>60</b>

(注) 本科のうち「その他」には、理数関係、外国語関係などの学科が含まれる。

図 15 高等学校の男女別学科別生徒数(本科)



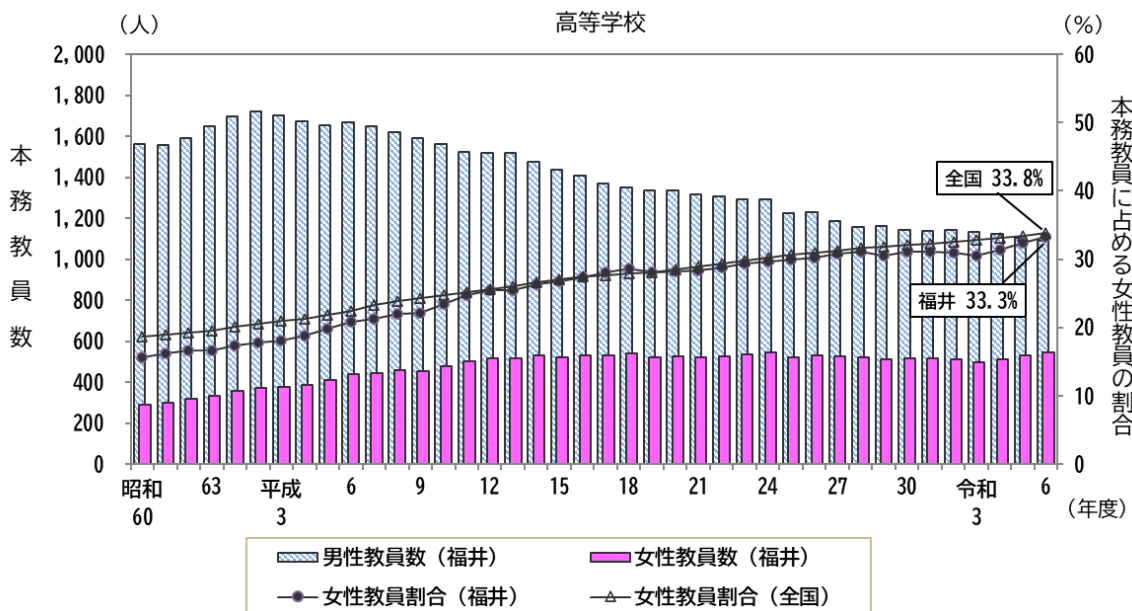
(3) 教員数 (表 10, 図 16)

教員数 (本務者) は 1,636 人 (男 1,092 人、女 544 人) であり、前年度と同数である。教員数 (本務者) のうち、女性教員の占める割合は 33.3% であり、前年度より 0.9 ポイント増加しており、全国と比べて 0.5 ポイント低い。

表 10 高等学校の教員数(本務者)

区 分	教員数 (本務者)	人		本務教員に占める女性教員の割合 %
		男	女	
令和2年度	1,654	1,141	513	31.0
令和3年度	1,631	1,134	497	30.5
令和4年度	1,638	1,124	514	31.4
令和5年度	1,636	1,106	530	32.4
令和5年度	1,636	1,092	544	33.3

図 16 高等学校の男女別本務教員数および本務教員に占める女性教員の割合の推移



[2] 通信制課程

(1) 学校数 (表 11)

学校数は 3 校となり、前年度と変わらない。

(2) 生徒数 (表 11)

生徒数は 1,046 人であり、前年度より 119 人増加している。

年齢別では、「30～39 歳」が 297 人 (構成比 28.4%) と最も多く、次いで「17 歳」が 168 人 (構成比 16.1%) となっている。(統計表第 68 表を参照)

(3) 教員数 (表 11)

教員数 (本務者) は 27 人であり、前年度より 2 人増加している。

表 11 高等学校 (通信制課程) の主要指標

区 分	学校数	生徒数	入学者数		卒業生数 (前年度間)	教員数 (本務者)
			(当該年度)	(前年度間)		
令和2年度	3	780	107	73	55	21
令和3年度	3	779	85	141	72	22
令和4年度	3	841	135	120	101	25
令和5年度	3	927	157	170	99	25
令和6年度	3	1,046	181	212	125	27



## 5 特別支援学校

### (1) 学校数 (表 12)

学校数は12校(本校12校、分校0校)であり、前年度と変わらない。国立1校、公立11校である。

### (2) 学級数 (表 12)

学級数は307学級であり、前年度より20学級増加している。

### (3) 在学者数 (表 12, 図 17)

在学者数は1,011人(男649人、女362人)であり、前年度より24人増加している。幼稚部が12人であり前年度より1人増加、小学部が342人であり前年度より10人増加、中学部が210人であり前年度と同数、高等部が447人であり前年度より13人増加している。

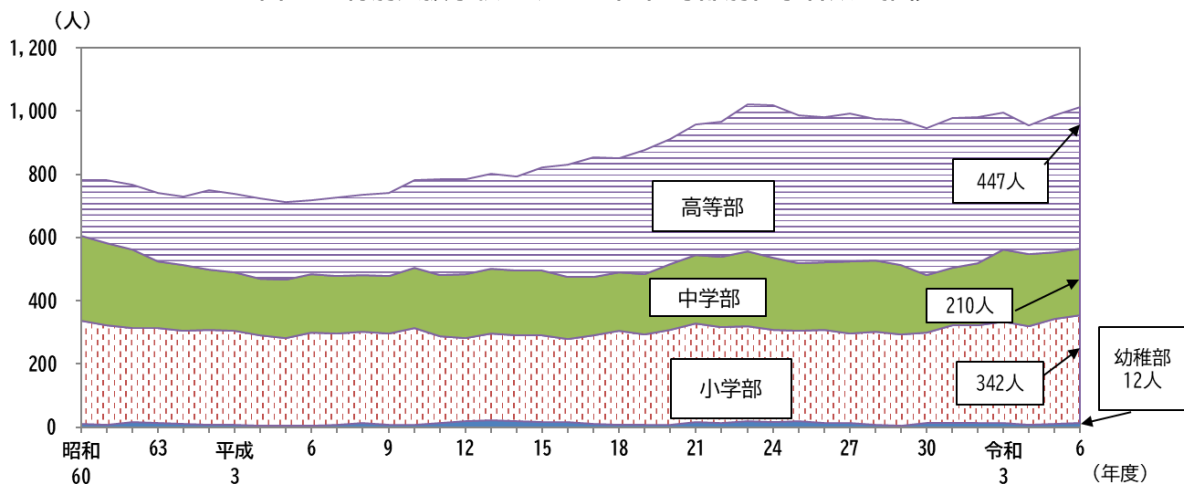
### (4) 教員数 (表 12)

教員数(本務者)は754人であり、前年度より7人増加している。

表 12 特別支援学校の主要指標

区 分	学校数	学級数	在学者数		幼稚部	小学部	中学部	高等部	教員数 (本務者)	本務教員 1人当たりの 在学者数	
			男	女							
令和2年度	12	287	980	593	387	13	310	197	460	760	1.3
令和3年度	12	301	994	620	374	12	322	229	431	763	1.3
令和4年度	12	292	956	602	354	9	311	228	408	758	1.3
令和5年度	12	287	987	625	362	11	332	210	434	747	1.3
<b>令和6年度</b>	<b>12</b>	<b>307</b>	<b>1,011</b>	<b>649</b>	<b>362</b>	<b>12</b>	<b>342</b>	<b>210</b>	<b>447</b>	<b>754</b>	<b>1.3</b>

図 17 特別支援学校の幼・小・中・高等部別在学者数の推移



※平成18年度までは、盲・聾・養護学校の合計数である。



## 6 幼稚園

### (1) 園数 (表 13)

幼稚園数は 58 園 (国立 1 園、公立 44 園、私立 13 園) であり、前年度より 2 園減少している。

表 13 幼稚園の設置者別園数

区 分	計	国立	公立	私立
	園	園	園	園
令和 2 年度	67	1	50	16
令和 3 年度	64	1	48	15
令和 4 年度	63	1	48	14
令和 5 年度	60	1	46	13
<b>令和 6 年度</b>	<b>58</b>	<b>1</b>	<b>44</b>	<b>13</b>

### (2) 学級数 (表 14)

学級数は 119 学級であり、前年度より 10 学級減少している。

### (3) 園児数 (表 14, 図 18, 図 19)

園児数は 714 人 (男 355 人、女 359 人) であり、前年度より 143 人減少している。園児数を年齢別にみると、3 歳児 199 人、4 歳児 266 人、5 歳児 249 人である。1 学級当たりの園児数は 6.0 人であり、全国の 17.9 人を下回っている。本務教員 1 人当たりの園児数は 4.4 人であり、全国の 9.2 人を下回っている。就園率は 5.7% であり、前年度より 0.1 ポイント低下している。

表 14 幼稚園の学級数および年齢別園児数

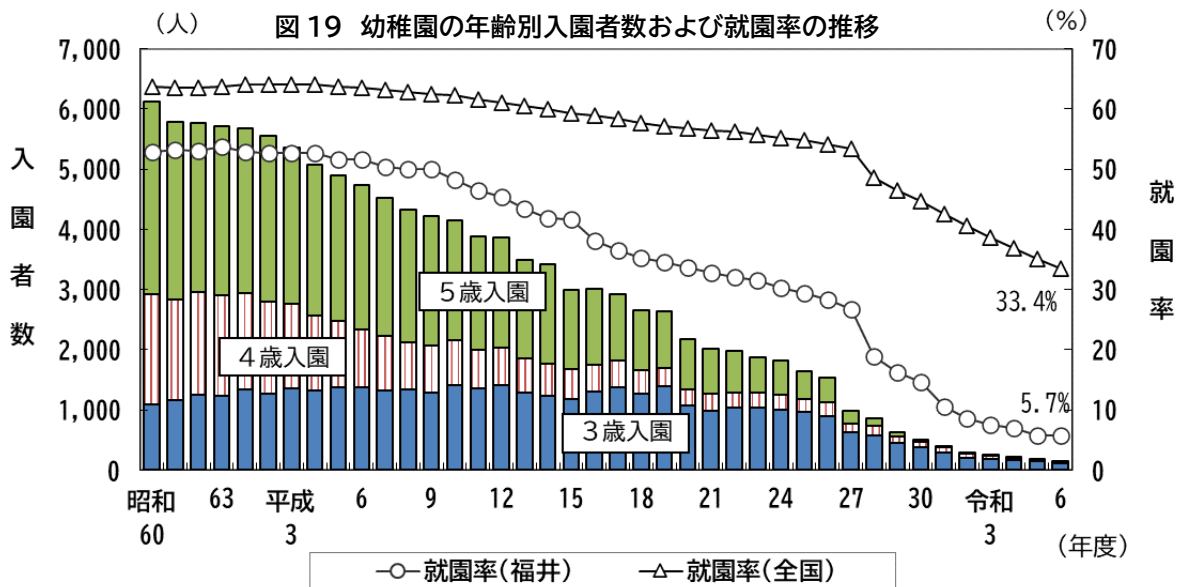
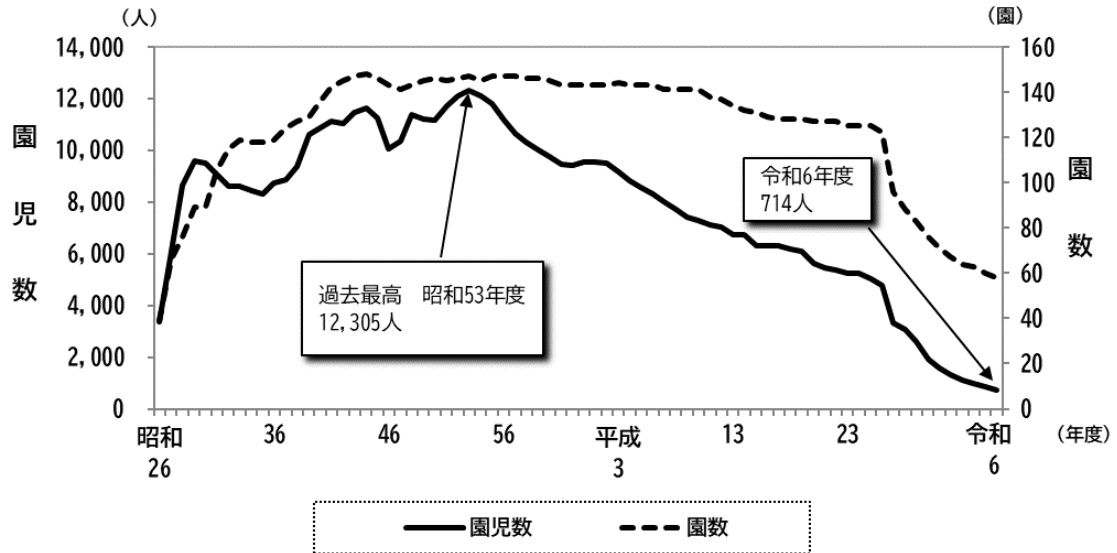
区 分	学級数	園 児 数						
		計	男	女	3 歳	比率	4 歳	比率
	学級	人	人	人	人	%	人	%
令和 2 年度	153	1,311	652	659	365	27.8	452	34.5
令和 3 年度	136	1,113	559	554	331	29.7	354	31.8
令和 4 年度	132	975	473	502	279	28.6	346	35.5
令和 5 年度	129	857	428	429	260	30.3	257	30.0
<b>令和 6 年度</b>	<b>119</b>	<b>714</b>	<b>355</b>	<b>359</b>	<b>199</b>	<b>27.9</b>	<b>266</b>	<b>37.3</b>
(参考) 全国	42,329	757,968	381,384	376,584	220,952	29.2	252,960	33.4

### つづき

区 分	園 児 数		1 学級当たり 園児数	本務教員 1 人 当たり園児数	就園率
	5 歳	比率			
	人	%	人	人	%
令和 2 年度	494	37.7	8.6	5.9	8.5
令和 3 年度	428	38.5	8.2	5.5	7.5
令和 4 年度	350	35.9	7.4	5.3	6.9
令和 5 年度	340	39.7	6.6	5.0	5.8
<b>令和 6 年度</b>	<b>249</b>	<b>34.9</b>	<b>6.0</b>	<b>4.4</b>	<b>5.7</b>
(参考) 全国	284,056	37.5	17.9	9.2	33.4

(注)「就園率」とは、小学校および義務教育学校第 1 学年児童数に対する幼稚園修了者の比率をいう。

図18 幼稚園の園数および園児数の推移



(4) 教員数 (表15)

教員数(本務者)は164人(男16人、女148人)であり、前年度より8人減少している。教員数(本務者)のうち、女性教員の占める割合は90.2%であり、前年度より1.1ポイント減少しており、全国と比べて3.2ポイント低い。

表15 幼稚園の教員数(本務者)

区分	教員数 (本務者)			本務教員に 占める女性 教員の割合
	人	男 人	女 人	
令和2年度	224	17	207	92.4
令和3年度	201	18	183	91.0
令和4年度	183	18	165	90.2
令和5年度	172	15	157	91.3
<b>令和6年度</b>	<b>164</b>	<b>16</b>	<b>148</b>	<b>90.2</b>
(参考)全国	82,809	5,438	77,371	93.4

## 7 幼保連携型認定こども園

表 16 幼保連携型認定こども園の設置者別園数

(1) 園数 (表 16)

幼保連携型認定こども園数は 155 園(公立 26 園、私立 129 園)であり、前年度より 5 園増加している。

区分	計	国立	公立	私立
令和2年度	129	-	24	105
令和3年度	138	-	24	114
令和4年度	149	-	25	124
令和5年度	150	-	25	125
令和6年度	155	-	26	129

(2) 学級数 (表 17)

学級数は 582 学級であり、前年度より 17 学級減少している。

(3) 園児数 (表 17)

園児数は 15,477 人(男 8,003 人、女 7,474 人)であり、前年度より 39 人増加している。園児数を年齢別にみると、0~2 歳児 5,419 人、3 歳児 3,364 人、4 歳児 3,259 人、5 歳児 3,435 人である。

1 学級当たりの園児数(3~5 歳児)は 17.3 人であり、全国の 19.3 人を下回っている。本務教育・保育職員 1 人当たりの園児数は 5.4 人であり、全国の 5.8 人を下回っている。就園率は 58.3%であり、前年度より 0.5 ポイント増加している。

表 17 幼保連携型認定こども園の学級数および年齢別園児数

区分	学級数 (3~5 歳児)	園児数						
		計	男	女	0~2 歳	比率	3 歳	比率
	学級	人	人	人	人	%	人	%
令和2年度	487	14,099	7,225	6,874	4,774	33.9	3,179	22.5
令和3年度	534	15,118	7,678	7,440	5,112	33.8	3,296	21.8
令和4年度	575	15,620	7,959	7,661	5,338	34.2	3,436	22.0
令和5年度	599	15,438	7,874	7,564	5,334	34.6	3,329	21.6
<b>令和6年度</b>	<b>582</b>	<b>15,477</b>	<b>8,003</b>	<b>7,474</b>	<b>5,419</b>	<b>35.0</b>	<b>3,364</b>	<b>21.7</b>
(参考) 全国	31,520	858,250	438,647	419,603	251,378	29.3	195,496	22.8

つづき

区分	園児数				1 学級当たり 園児数 (3~5 歳児)	本務教育・保育職員 1 人当たり園児数 (0~5 歳)	就園率
	4 歳	比率	5 歳	比率			
	人	%	人	%	人	人	%
令和2年度	3,140	22.3	3,006	21.3	19.1	5.7	45.5
令和3年度	3,302	21.8	3,408	22.5	18.7	5.7	49.3
令和4年度	3,379	21.6	3,467	22.2	17.9	5.6	55.1
令和5年度	3,367	21.8	3,408	22.1	16.9	5.5	57.8
<b>令和6年度</b>	<b>3,259</b>	<b>21.1</b>	<b>3,435</b>	<b>22.2</b>	<b>17.3</b>	<b>5.4</b>	<b>58.3</b>
(参考) 全国	201,335	23.5	210,041	24.5	19.3	5.8	22.2

(注)「就園率」とは、小学校および義務教育学校第 1 学年児童数に対する幼保連携型認定こども園修了者の比率をいう。

(4) 教育・保育職員数 (表 18)

教育・保育職員数(本務者)は 2,864 人(男 102 人、女 2,762 人)であり、前年度より 54 人増加している。教育・保育職員数(本務者)のうち、女性職員の占める比率は 96.4%であり、前年度より 0.2 ポイント減少しており、全国と比べて 1.7 ポイント高い。

表 18 幼保連携型認定こども園の教育・保育職員数(本務者)

区分	教育・保育職員数 (本務者)			本務教育・保育職員に占める女性職員の割合
	人	男 人	女 人	
令和2年度	2,473	77	2,396	96.9
令和3年度	2,638	85	2,553	96.8
令和4年度	2,790	98	2,692	96.5
令和5年度	2,810	95	2,715	96.6
<b>令和6年度</b>	<b>2,864</b>	<b>102</b>	<b>2,762</b>	<b>96.4</b>
(参考) 全国	149,190	7,840	141,350	94.7

## 8 専修学校

### (1) 学校数 (表 19)

学校数は 18 校であり、前年度と同様である。公立 2 校、私立 16 校である。高等課程を置く学校は 1 校、専門課程を置く学校は 18 校である。(統計表第 120 表および第 121 表を参照)

### (2) 学科数 (表 19)

学科数は 47 学科であり、前年度から 5 減少。内訳は、高等課程 2 学科、専門課程 45 学科である。学科別では「衛生関係」が 10 学科、「商業実務関係」が 9 学科、「文化・教養関係」が 8 学科、「服飾・家政関係」が 7 学科、「医療関係」が 6 学科、「教育・社会福祉関係」が 5 学科、「工業関係」が 2 学科である。(統計表第 124 表を参照)

### (3) 生徒数 (表 19, 図 20)

生徒数は 1,596 人 (男 473 人、女 1,123 人) であり、前年度より 64 人増加している。

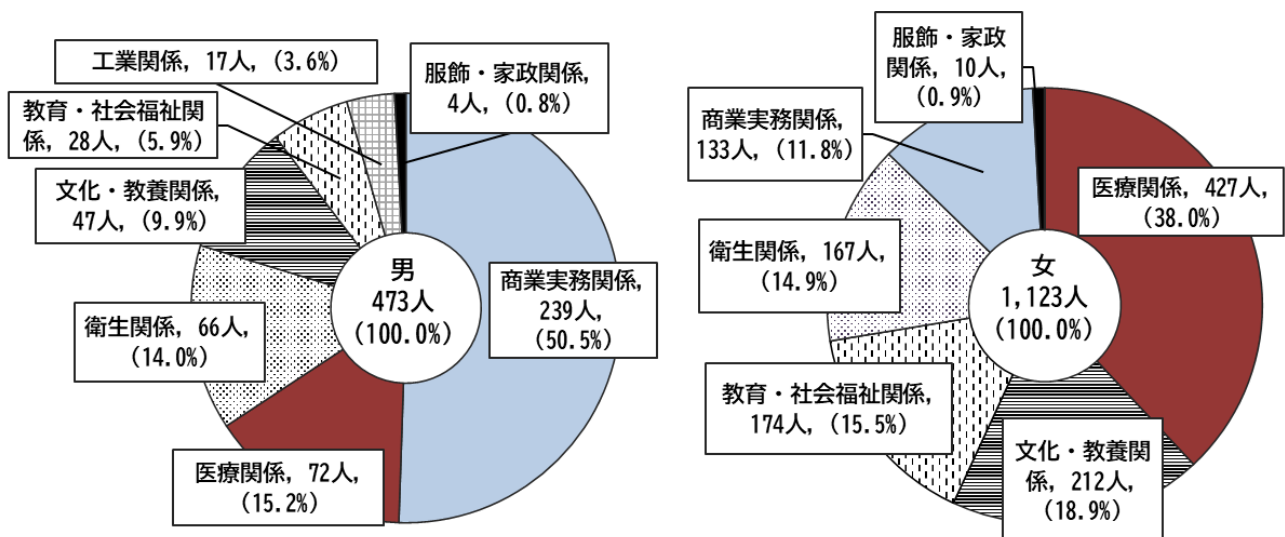
### (4) 教員数 (表 19)

教員数 (本務者) は 149 人であり、前年より 5 人減少している。

表 19 専修学校の主要指標

区 分	学 校 数	学 科 数	生 徒 数	生 徒 数		教員数 (本務者)	卒業者数 (前年度間)
				男	女		
	校	学科	人	人	人	人	人
令和 2 年度	20	52	1,477	511	966	159	688
令和 3 年度	19	53	1,479	503	976	165	654
令和 4 年度	19	52	1,571	510	1,061	158	609
令和 5 年度	18	52	1,532	451	1,081	154	637
令和 6 年度	18	47	1,596	473	1,123	149	664

図 20 専修学校の男女別分野別生徒数



## 9 各種学校

(1) 学校数（表 20）

学校数は 12 校であり、前年度と変わらない。なお、設置者はすべて私立である。

(2) 生徒数（表 20）

生徒数は 1,881 人（男 1,275 人、女 606 人）であり、前年度より 32 人増加している。なお、課程は全て「自動車操縦」である。

(3) 教員数（表 20）

教員数（本務者）は 234 人であり、前年度より 5 人減少している。

表 20 各種学校の主要指標

区 分	学校数	生徒数	生徒数		教員数 (本務者)	卒業者数 (前年度)
			男	女		
	校	人	人	人	人	人
令和 2 年度	12	1,856	1,203	653	220	12,867
令和 3 年度	12	2,082	1,387	695	231	12,903
令和 4 年度	12	1,828	1,184	644	220	13,457
令和 5 年度	12	1,849	1,224	625	239	12,533
令和 6 年度	12	1,881	1,275	606	234	12,438

## Ⅱ 卒業後の状況調査

### 1 中学校および義務教育学校卒業生

#### (1) 卒業生数 (表21)

令和5年度の中学校および義務教育学校卒業生は中学校 7,013人(男3,592人、女 3,421人)、義務教育学校104人(男51人、女53人)の計7,117人(男3,643人、女3,474人)で、前年度より66人減少した。

#### (2) 進学状況 (表21, 図21)

高等学校等進学者は中学校6,971人(男3,570人、女3,401人)、義務教育学校104人(男51人、女53人)の計7,075人(男3,621人、女3,454人)で、前年度より58人減少した。高等学校等進学率は99.4%で、前年度より0.1ポイント増加した。なお、全国の高等学校等進学率は98.6%であり、本県が0.8ポイント高い。(全国2位)

専修学校(高等課程)進学者は8人(男2人、女6人)であり、専修学校(一般課程)等入学者は2人(男2人)、公共職業能力開発施設等入学者はいない。なお、義務教育学校卒業生の中にこれらの学校、施設に進学・入学した者はいない。

#### (3) 就職状況 (表21, 表22, 図22)

就職者総数(表21内「就職者①」および「A・B・C・Dのうち就職者②」の合計)は、5人(男4人、女1人)で、前年度より3人減少した。なお、義務教育学校卒業生の中に就職者はいない。

産業別にみると、第2次産業が1人、第3次産業が3人、その他1人であった。また就職者のうち、県内就職者は3人であり、県外就職者は2人である。

就職率は0.1%(男0.1%、女0.03%)であり、全国の就職率より0.1ポイント低い。(全国45位)

表 21 中学校および義務教育学校の進路別卒業生数

区 分	卒業生総数	高等学校等進学者(A)	専修学校(高等課程)進学者(B)	専修学校(一般課程)等入学者(C)	公共職業能力開発施設等入学者(D)	就職者①	左記以外の者等	不詳・死亡	A・B・C・Dのうち就職者②(再掲)	高等学校等進学率	就職率
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%	%
令和元年度卒業	7,223	7,181	8	1	0	7	26	0	1	99.4	0.1
令和2年度卒業	7,120	7,089	6	1	0	3	21	0	0	99.6	0.0
令和3年度卒業	7,201	7,159	11	0	0	4	27	0	0	99.4	0.1
令和4年度卒業	7,183	7,133	6	0	0	8	35	1	0	99.3	0.1
<b>令和5年度卒業</b>	<b>7,117</b>	<b>7,075</b>	<b>8</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	<b>29</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>99.4</b>	<b>0.1</b>

(注) 1 卒業生総数は、中学校および義務教育学校(平成29年度設置)卒業生の合計である。

2 「高等学校等進学者」とは、高等学校・特別支援学校高等部の本科・別科および高等専門学校へ進学した者である。また、進学しなかった就職した者を含む。

3 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校(一般課程)および各種学校へ入学した者である。

4 「就職者①」とは、国の公表区分における「就職者等」のうち「自営業主等」、「無期雇用労働者」、「有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者」を合算した人数である。

5 「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の高等学校等に入学した者、家事手伝いなど)。

6 「左記以外の者等」の欄には、国の公表区分における「左記以外の者」と「就職者等」のうち「有期雇用労働者(雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者に該当しない者)」および「臨時労働者」の合計を掲載している。

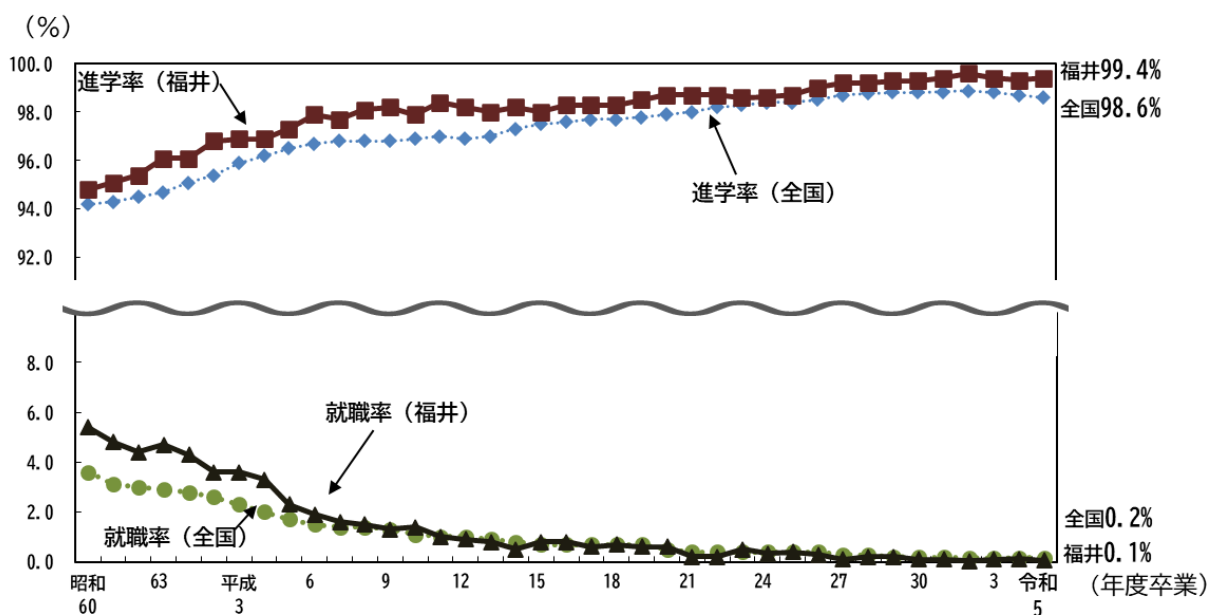
7 「就職率」とは、卒業生のうち表21内「就職者①」および「A・B・C・Dのうち就職者②」の占める割合である。

※中学校および義務教育学校の卒業生内訳の詳細については、統計表第142表および第146表を参照

表 22 中学校および義務教育学校卒業者の産業別就職者数

区 分	就職者総数	県内就職者総数	第1次産業		第2次産業		第3次産業		左記以外・不詳	
			うち県内	うち県内	うち県内	うち県内	うち県内	うち県内		
令和元年度卒業	8	5	0	0	4	3	4	2	0	0
令和2年度卒業	3	2	0	0	2	1	1	1	0	0
令和3年度卒業	4	4	2	2	0	0	2	2	0	0
令和4年度卒業	8	8	0	0	4	4	4	4	0	0
令和5年度卒業	5	3	0	0	1	1	3	2	1	0

図 21 中学校および義務教育学校卒業者の高等学校等進学率および就職率の推移



(注) 図 21:全国は平成 28 年度卒業、福井県は平成 29 年度卒業より中学校および義務教育学校の卒業者について掲載している。

## 2 高等学校卒業生

### (1) 卒業生数 (表23)

令和5年度の高等学校卒業生(全日制・定時制)は6,515人(男3,311人、女3,204人)であり、前年度より152人減少している。

### (2) 進学状況 (表23, 図22~24)

大学等進学者は3,992人(男1,971人、女2,021人)であり、前年度より187人減少している。大学等進学率は61.3%(男59.5%、女63.1%)であり、前年度より1.4ポイント減少している。

なお、全国の進学率は61.9%であり、本県が0.6ポイント低い(全国14位)。

専修学校(専門課程)進学者は1,000人(男384人、女616人)、専修学校(一般課程)等入学者は80人(男46人、女34人)、公共職業能力開発施設等入学者は17人(男15人、女2人)である。

### (3) 就職状況 (表23~25, 図23, 図25~27)

就職者総数(表23内「就職者①」および「A・B・C・Dのうち就職者②」の合計)は1,231人(男793人、女438人)であり、前年度より59人増加している。就職率は18.9%(男24.0%、女13.7%)であり、前年度より1.3ポイント増加している。なお、全国就職率は14.0%であり、本県が4.9ポイント高い(全国19位)。

就職先を県内、県外別でみると、県内就職者は1,113人であり90.4%(前年度から0.6ポイント増加)、県外就職者は118人であり9.6%(前年度から0.6ポイント減少)である。県外就職者を就職地域別でみると、最も多いのは近畿地方58人(就職者総数の4.7%)、次いで東海地方の18人(同1.5%)、北陸地方が15人(同1.2%)である。

就職者総数を産業別にみると、最も多いのは製造業577人(就職者総数の46.9%)、次いで建設業147人(同11.9%)、卸売業、小売業75人(同6.1%)である。

また、就職者総数を職業別にみると、最も多いのは生産工程従事者551人(就職者総数の44.8%)、次いでサービス職業従事者146人(同11.9%)、建設・採掘従事者130人(同10.6%)である。

※男女別など卒業生内訳の詳細については、統計表第148表を参照

表 23 高等学校等の進路別卒業生数

区 分	卒業生総数	大学等進学者(A)	専修学校(専門課程)進学者(B)	専修学校(一般課程)等入学者(C)	公共職業能力開発施設等入学者(D)	就職者①	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	不詳・死亡	A・B・C・Dのうち就職者②(再掲)	大学等進学率	専修学校(専門課程)進学率	就職率
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%	%	%
令和元年度卒業	7,260	4,133	1,091	102	27	1,653	32	222	0	2	56.9	15.0	22.8
令和2年度卒業	7,089	4,220	1,055	92	17	1,464	35	206	0	1	59.5	14.9	20.7
令和3年度卒業	6,705	4,013	1,023	117	19	1,283	29	221	0	1	59.9	15.3	19.1
令和4年度卒業	6,667	4,179	1,007	76	21	1,172	22	190	0	0	62.7	15.1	17.6
<b>令和5年度卒業</b>	<b>6,515</b>	<b>3,992</b>	<b>1,000</b>	<b>80</b>	<b>17</b>	<b>1,231</b>	<b>16</b>	<b>179</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>61.3</b>	<b>15.3</b>	<b>18.9</b>

(注) 1 「大学等進学者」とは、大学の学部・通信教育部・別科、短期大学の本科・通信教育部・別科、高等学校・特別支援学校高等部の専攻科への進学者である。また、進学しかつ就職した者を含む。

2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校(一般課程)および各種学校へ入学した者である。

3 令和元年度卒業以降の「就職者①」とは、国の公表区分における「就職者等」のうち「自営業主等」、「無期雇用労働者」、「有期雇用労働者」のうち雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者を合算した人数である。

4 令和元年度卒業以降の「一時的な仕事に就いた者」とは、国の公表区分における「就職者等」のうち「有期雇用労働者(雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者に該当しない者)」および「臨時労働者」の合計を掲載している。

5 「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の大学等に入学した者、家事手伝いなど)。

6 「就職率」とは、卒業者のうち表23内「就職者①」および「A・B・C・Dのうち就職者②」の占める割合である。



図 22 高等学校の進路別卒業生数の推移

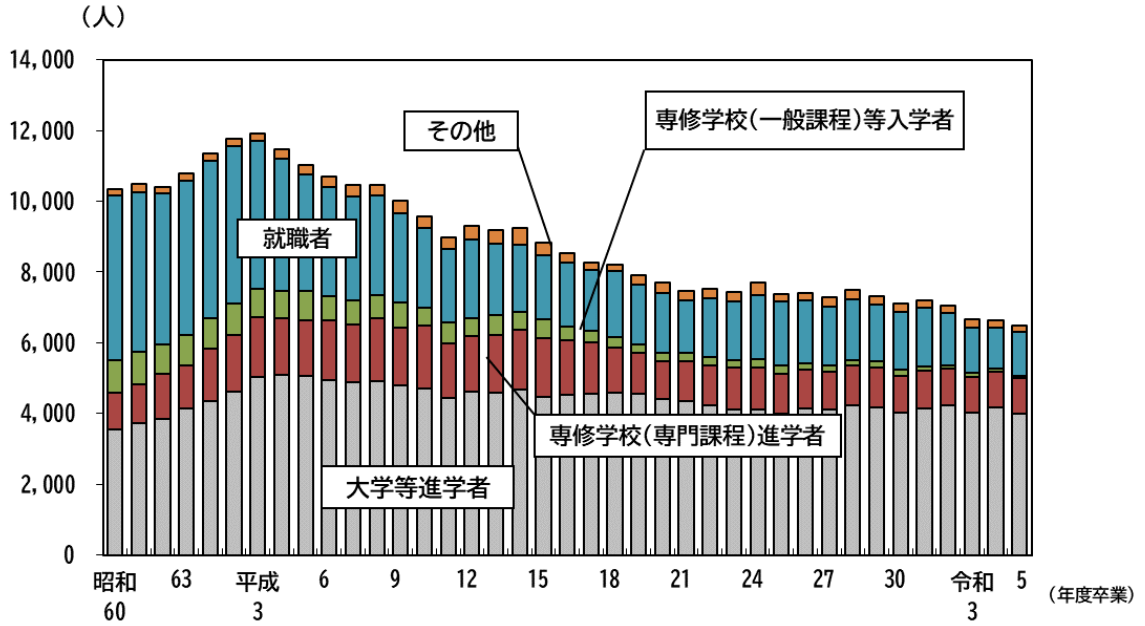


図 23 高等学校卒業生の大学等進学率および就職率の推移

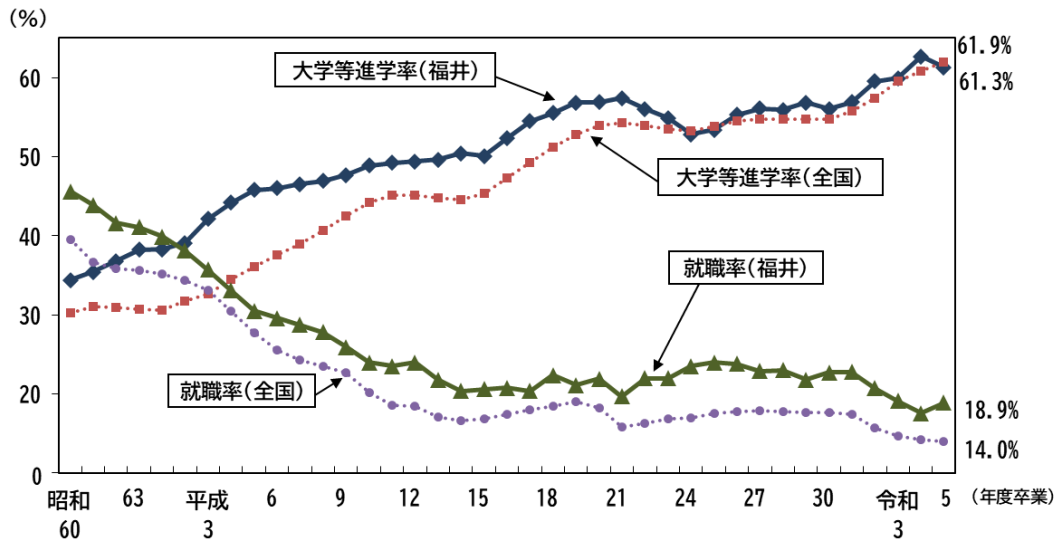


図 24 高等学校卒業生の男女別大学等進学率の推移

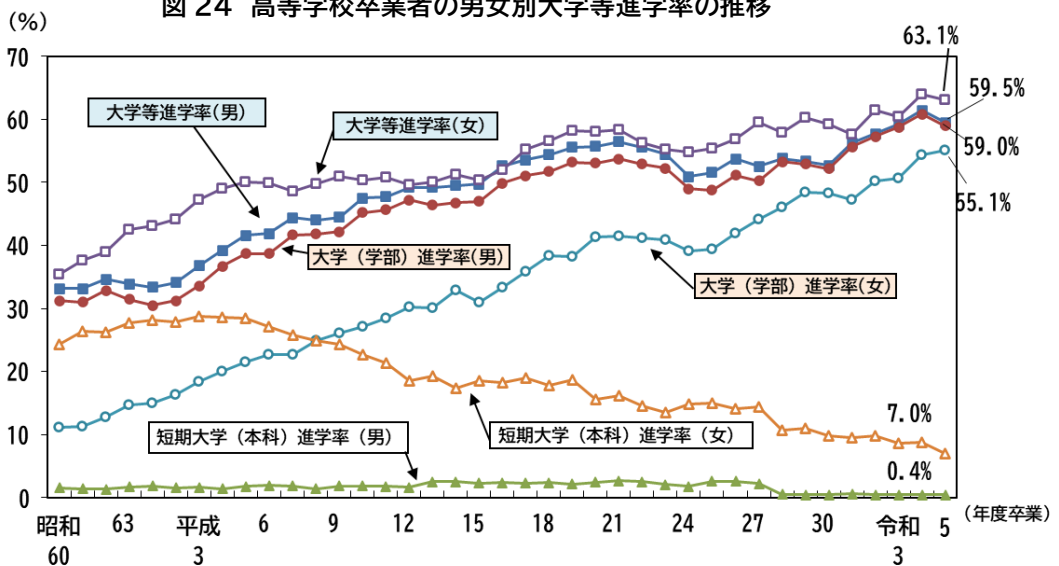


表 24 高等学校卒業者の業別、県内外別、男女別就職者数

		就 職 者 数 (人、%)				
		県内		県外		男 女
第一次	農業、林業	12 (1.0)	12 (1.0)	- (-)	9 (0.7)	3 (0.2)
	漁業	5 (0.4)	4 (0.3)	1 (0.1)	5 (0.4)	- (-)
	小計	17 (1.4)	16 (1.3)	1 (0.1)	14 (1.1)	3 (0.2)
第二次	鉱業、採石業、 砂利採取業	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	建設業	147 (11.9)	138 (11.2)	9 (0.7)	127 (10.3)	20 (1.6)
	製造業	577 (46.9)	554 (45.0)	23 (1.9)	405 (32.9)	172 (14.0)
	小計	724 (58.8)	692 (56.2)	32 (2.6)	532 (43.2)	192 (15.6)
第三次	電気・ガス・ 熱供給・水道業	33 (2.7)	28 (2.3)	5 (0.4)	27 (2.2)	6 (0.5)
	情報通信業	4 (0.3)	4 (0.3)	- (-)	2 (0.2)	2 (0.2)
	運輸業、郵便業	47 (3.8)	39 (3.2)	8 (0.6)	32 (2.6)	15 (1.2)
	卸売業、小売業	75 (6.1)	72 (5.8)	3 (0.2)	27 (2.2)	48 (3.9)
	金融業、保険業	12 (1.0)	12 (1.0)	- (-)	2 (0.2)	10 (0.8)
	不動産業、 物品賃貸業	4 (0.3)	4 (0.3)	- (-)	2 (0.2)	2 (0.2)
	学術研究、 専門・技術サービス業	19 (1.5)	16 (1.3)	3 (0.2)	11 (0.9)	8 (0.6)
	宿泊業、 飲食サービス業	55 (4.5)	40 (3.2)	15 (1.2)	28 (2.3)	27 (2.2)
	生活関連サービス業、 娯楽業	45 (3.7)	42 (3.4)	3 (0.2)	9 (0.7)	36 (2.9)
	教育、学習支援業	2 (0.2)	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)
	医療、福祉	53 (4.3)	52 (4.2)	1 (0.1)	11 (0.9)	42 (3.4)
	複合サービス事業	12 (1.0)	12 (1.0)	- (-)	5 (0.4)	7 (0.6)
	サービス業(他に分類さ れないもの)	43 (3.5)	33 (2.7)	10 (0.8)	28 (2.3)	15 (1.2)
	公務(他に分類され るものを除く)	80 (6.5)	46 (3.7)	34 (2.8)	56 (4.5)	24 (1.9)
	小計	484 (39.3)	401 (32.6)	83 (6.7)	241 (19.6)	243 (19.7)
上記以外の者	6 (0.5)	4 (0.3)	2 (0.2)	6 (0.5)	- (-)	
総合計	1,231 (100.0)	1,113 (90.4)	118 (9.6)	793 (64.4)	438 (35.6)	

※ ( ) 内は就職者総数に対する割合 (%) を示す。

表 25 高等学校卒業者の男女別、地域別県外就職者数

	県外 就職者 計	北海道	東北	南関東	北関東 ・甲信	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄	その他
令和元年度	178	-	-	28	3	24	10	100	3	-	2	1	7
男	110	-	-	18	2	15	5	59	3	-	1	-	7
女	68	-	-	10	1	9	5	41	-	-	1	1	-
令和2年度	147	-	-	22	4	18	16	77	2	-	1	-	7
男	112	-	-	14	4	17	12	60	-	-	-	-	5
女	35	-	-	8	-	1	4	17	2	-	1	-	2
令和3年度	129	-	-	20	5	25	11	54	4	-	2	-	8
男	83	-	-	11	2	19	6	38	3	-	-	-	4
女	46	-	-	9	3	6	5	16	1	-	2	-	4
令和4年度	119	-	2	19	4	17	13	51	5	1	-	-	7
男	78	-	-	11	3	11	8	37	3	1	-	-	4
女	41	-	2	8	1	6	5	14	2	-	-	-	3
令和5年度	118	2	-	12	4	15	18	58	2	2	-	-	5
男	82	2	-	10	4	14	12	35	-	2	-	-	3
女	36	-	-	2	-	1	6	23	2	-	-	-	2

地域区分 北海道(北海道)、東北(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)  
 南関東(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)  
 北関東・甲信(茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県)  
 北陸(新潟県、富山県、石川県)、東海(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)  
 近畿(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)  
 中国(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)  
 四国(徳島県、香川県、愛媛県、高知県)  
 九州(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県)  
 沖縄(沖縄県)、その他(国外および不詳)

図 25 高等学校卒業者の就職者の就職地域別割合

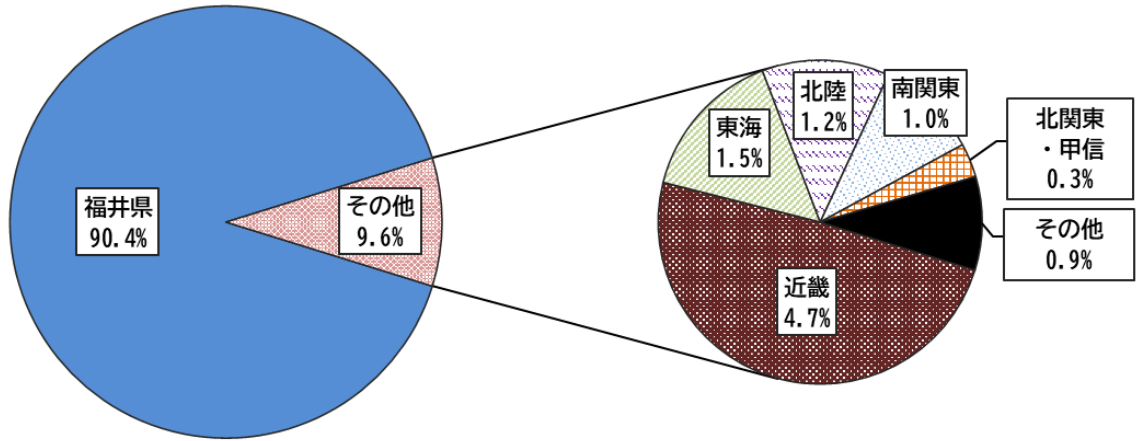


図 26 高等学校卒業者の男女別産業別就職者数(上位の産業)

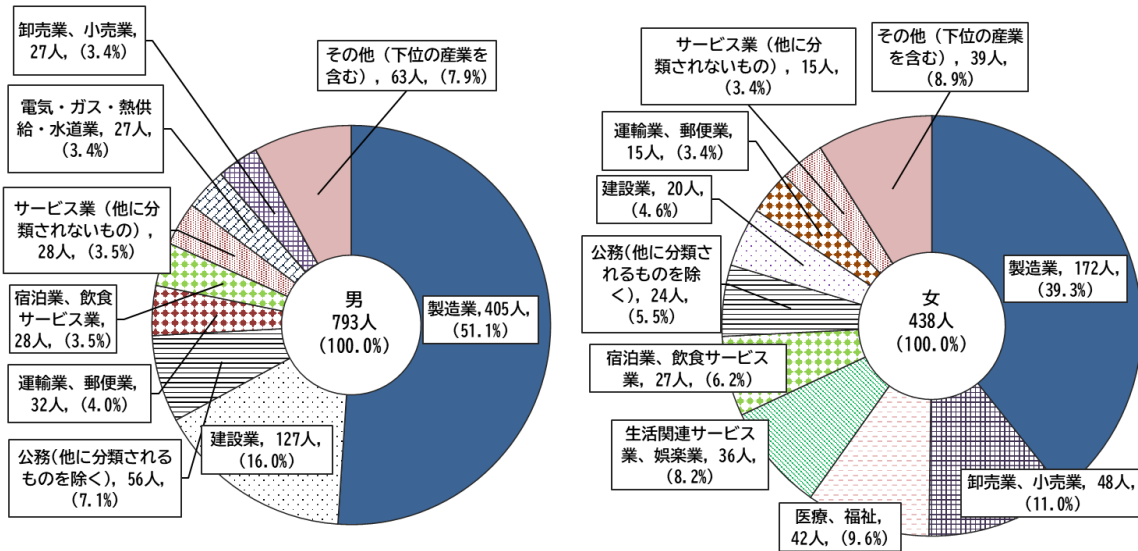
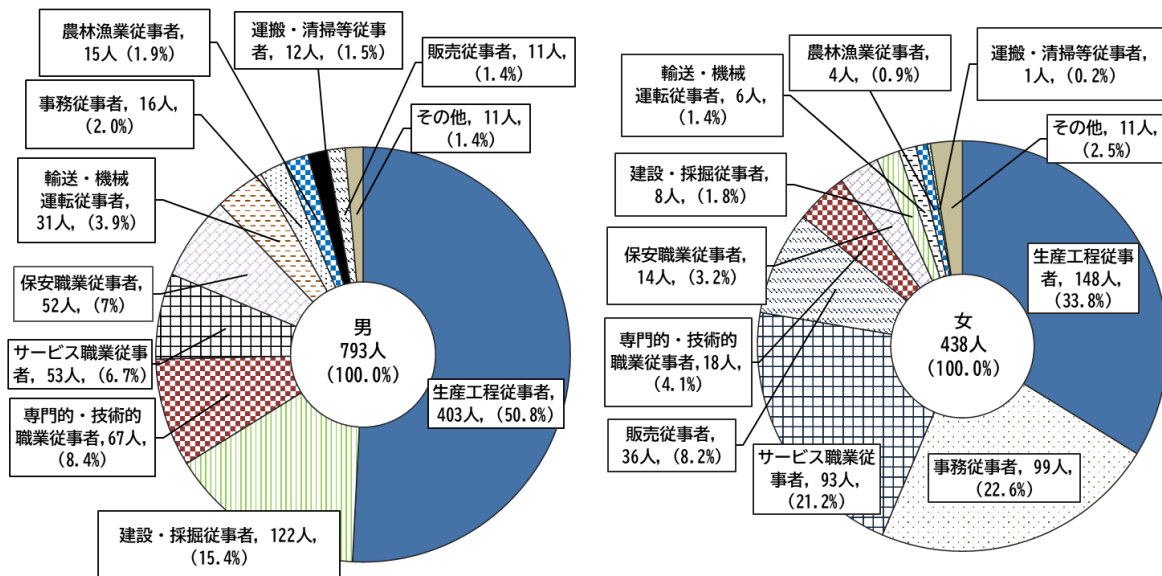


図 27 高等学校卒業者の男女別職業別就職者数



### Ⅲ 調査の概要

この調査は、統計法（平成19年法律第53号）に基づく基幹統計として、文部科学省所管のもとに昭和23年以降統計法施行令（平成20年政令第334号）および学校基本調査規則（昭和27年文部省令第4号）により毎年実施されているもので、令和5年度の調査概要は、次のとおりである。

1. 調査目的  
学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的とする。
2. 調査範囲  
県内のすべての小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園、幼保連携型認定こども園、専修学校、各種学校、学校通信教育および不就学学齢児童・生徒について調査する。
3. 調査の種類、調査事項

調査の種類	主要調査事項	申告者等
学校調査	学校数、学級数、在学者数、教職員数、入学者数、卒業生数	学校の長
学校通信教育調査	学校数、生徒数、教職員数	//
不就学学齢児童・生徒調査	就学免除者および就学猶予者の状況、居所不明および死亡した学齢児童・生徒数	市町教育委員会
学校施設調査	学校の土地および建物の用途別面積	公立学校の長 私立学校の設置者
卒業後の状況調査	令和6年3月に中学校、義務教育学校、高等学校ならびに特別支援学校の中学部および高等部を卒業した者の卒業後の状況（年度途中（令和5年4月1日～令和6年3月31日）に卒業を認められたものも含む。）	学校の長

4. 調査の期日  
令和6年5月1日
5. 調査の方法  
県内の市町立学校および私立学校（高等学校を除く。）ならびに市町教育委員会に対し、市町長を経由して調査票を配布、収集して調査を実施する。  
県立学校・私立高等学校については、直接調査票を配布して調査を実施する。  
国立学校については、当該学校長から文部科学大臣に提出された調査票による。  
なお、すべての学校は、インターネットを利用して、「オンライン調査システム」により調査票を提出している。
6. 調査の公表  
文部科学省は、全国分を集計のうえ報告書として公表し、本県においては、本県分の集計結果を「学校基本調査報告書」として公表する。
7. その他
  - (1) この報告書に掲載された数値等を他に転載する場合には、「福井県未来創造部統計調査課調べ、令和6年度学校基本調査報告書による」旨明記すること。
  - (2) この報告書についての照会等は、福井県未来創造部統計調査課 人口統計グループまで  
〒910-8580 福井市大手3丁目17-1  
TEL0776-20-0273(ダイヤルイン) または 0776-21-1111(代表)
8. 利用上の注意
  - (1) 表中に使用した符号「-」は、該当のないものである。}
  - (2) 構成比は、個々の数値ごとに小数点以下第2位を四捨五入したため、内訳と総数が一致しない場合がある。また、構成比の「0.0」は表章単位に満たないことを示す。



**地味にすごい、福井**  
"JIMI NI SUGOI" FUKUI

## 令和6年度 学校基本調査報告書

令和7年（2025年）2月発行

編集・発行 福井県  
未来創造部統計調査課  
人口統計グループ

〒910-8580  
福井市大手3丁目17番1号  
電話  
0776-20-0273（直通）  
0776-21-1111（代表）

福井県統計調査課ホームページ

福井県学校基本調査

検索